

2020

10月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第194号-①【基準日 2020年9月30日】



🌸 社長メッセージ



資産運用はじっくりと時間をかけて



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年は残暑も短く最近ではすっかり秋めいて朝晩の気温も下がってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。体調管理が難しい季節の変わり目なので、皆さまくれぐれもご自愛ください。

さて、先月は自民党総裁選が行われて菅新首相による新政権が発足しました。アベノミクス路線を基本的に継承しながら、新型コロナウイルス対策と経済活動回復を両立させていくことを最優先に掲げ、コロナ禍で様々なところで遅れが明らかになったデジタル化の推進や携帯電話通信料金の引き下げ、行政改革等に向けて動き出した1ヶ月となりました。

マーケットは菅新政権への期待のご祝儀相場と日銀によるETF購入による株式市場の買い支え期待等によって日本株は総じて上昇しました。特に成長期待の高い中小型株が大きく上昇しただけでなく、バリュー株や景気敏感株なども底堅い値動きを示し堅調でした。



一方で、世界株式市場では、先月までの大きな上昇が一服しおおむね調整した1ヶ月でした。特に米国株の中でもナスダック関連の大手ハイテク銘柄を中心にコロナショック後の大幅な上昇の反動もあり、売られて調整しました。欧州においても新型コロナウイルス感染がイギリスやフランスなどで再拡大している状況から行動制限が強化されるなど、景気回復の遅れが懸念されて調整しました。ありがとうファンドの先月の騰落率は月間-2.1%の下落でした。参考までに世界株は-3.6%の下落でしたので相対的にダウンサイドリスクを抑えることができました。

今後のマーケットの注目点としては、来月11月に行われる米国大統領選挙が挙げられます。共和党のトランプ大統領と民主党のバイデン氏の選挙戦の行方に注目が集まっております。米中対立問題の対応をはじめ様々な問題への政策対応は、誰が大統領になるかで変わってくるでしょう。米国の株式市場は、景気対策効果もありコロナショックからV字回復しましたが、9月から調整相場が続きました。今後の大統領選挙の動向や追加経済対策の可否などによっては、相場が不安定になりボラティリティの大きな相場展開がしばらく続くと思われます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

コロナ禍での新しい日常生活スタイルへの適応

新型コロナウイルスの世界的なパンデミックが始まってから既に半年以上が経過しましたが、感染拡大の収束目処は立っていない状況で世界の感染者数は3000万人、死者数は100万人を突破しました。

国内でも新規感染者は毎日数百人ペースで発生していますが、感染防止しながらの新しい生活スタイルに私達もずいぶん慣れてきて、日々の感染者数の報道にも一喜一憂せずに冷静に対応できるようになってきたと感じます。

一斉休校やマスク不足、GoToトラベルなどへの過剰反応や混乱も収まり、コロナ禍で感染防止をしながらの経済活動再開と新しい日常生活スタイルへの適応が進んできているように思います。

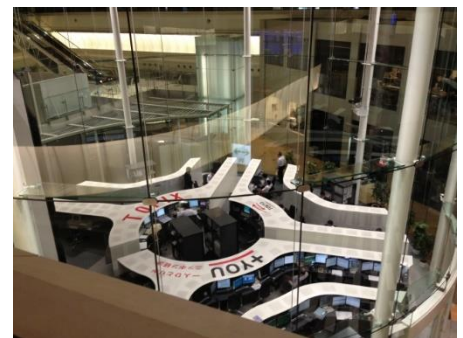
これから秋冬の第二波、第三波には十分に警戒しながらも、私達一人一人がしっかりと感染防止に気をつけて日々生活していけば、再び春先の緊急事態宣言下のようなパニックには陥らずに済むのではないかと思います。

世界中でワクチンや治療薬が開発されて、すべての人が接種できるようになるまでには、少なくとも1～2年はかかると思われるので、あせらずじっくりと向き合っていく必要があると考えます。

資産運用はじっくりと時間をかけることが大切

ところで、コロナショックで3月にマーケットが大きく値下がりしたことや緊急事態宣言で在宅勤務になった人が多かったせいもあって新たに投資を始める人が急増したそうです。大手ネット証券を中心にコロナ禍の中、新規口座開設数が数十万口座になるなど過去最高を更新したようです。米国でも給付金を原資に株式投資を始める若者が増加し、相場上昇も手伝って短期売買で大きな利益を上げたり、レバレッジをかけた投資で元本を失って自殺した若者がいることなどがニュースになりました。

数年前より金融庁が「貯蓄から資産形成へ」と旗を振って地道に長期・積立・国際分散投資の必要性について啓蒙活動を続けてきていましたが、少しずつしか裾野が広がらなかったのに、皮肉にもコロナ禍の緊急事態の中で新たに投資をする人が急増する形になりました。



ちょうどマーケットが大きく下がったタイミングで投資を始めて短期間で大きな値上がりを経験することができた方も少なくないと思います。短期的に見ればいきなり値上がりして利益が出たので良いタイミングで投資できたと考えている人も少なくないと思いますが、中長期的な資産運用の観点で見れば必ずしも良い事ばかりとは言えないと思います。今回短期で利益が出た人の多くは、長期・積立・分散投資ではなく、短期・一括・個別銘柄(集中)投資になっている人も少なくないでしょう。マーケットは今後も上昇するかもしれませんが、急上昇した後は大きく調整したり、しばらく上がったたり下がったりのボックス相場が続いたりします。また、個別銘柄投資は、分散投資された投資信託と比べてリスクが高いため、知識のない初心者にはおすすめできません。

たまたまコロナショックのタイミングで始めて利益が出てもそれがずっと続く訳ではありません。特に今回のコロナショック後の株価上昇は实体经济と乖離している中で金融緩和による下支えと将来の回復期待を相当織り込んでの上昇です。業績を伴ったの株価上昇と違って、实体经济や企業利益の回復という裏付けなしに株価がどんどん上昇を続けていけばバブルになります。そして、バブルはいつか崩壊することは過去の歴史を見れば明らかです。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットでタイミングよく売買(トレード)して短期間で儲けることは、再現性のない運次第の投機(ギャンブル)と言えるでしょう。

人生設計における老後の資産形成が目標(ゴール)である多くの人にとって、もしかしたら短期的な利益は長期投資で資産運用していくことを妨げるノイズになってしまう可能性があるかもしれません。

本来、投資はすぐに運用成果が出るものではありません。世界経済の成長や企業利益の成長の果実をリターンとして享受するには5年、10年という時間が必要になってきます。一朝一夕にリターンが出るわけではないので、忍耐力や辛抱強さが必要になります。

何事も大きな事を成し遂げるには長い時間をかける必要があります。資産運用でよく言われる複利効果で雪だるま式に資産が増えていくには、1年では難しく5年、10年、20年と長期間続けていくことが大切です。



最初にビギナーズラックで利益が出てしまうと簡単に利益がでないと、辛抱が続き途中で止めてしまうかもしれません。逆にはじめに市場が低迷していて苦しい時期が長く続くと忍耐力がつくので長期の資産運用を継続できて、結果的に大きく老後資産を形成ができるかもしれません。

大切なことは、いつからスタートしても、運用成果は時間をかけて享受できるものであるということと長期間継続していくためには忍耐力や辛抱強さが必要だということです。

資産運用を途中で止めないこと～継続は力なり～

長期・積立・国際分散投資で正しく資産運用をスタートしても、継続できなければ資産運用の果実を享受することはできず、老後資産形成の目標は達成できないでしょう。

資産配分をどうするか、どの商品が良いか、いつ・いくら投資するかという資産配分や商品選択、投資タイミングはもちろん大事ですが、資産運用を途中で止めずに継続することが一番大切なことです。

長期で続けていくためには、継続を妨げるものは何かをしっかりと認識して皆さんがそれに対処していくことが資産運用で成功するためには必要であると考えます。

弊社では、お客様が資産運用を継続していただけるように一生涯サポートさせていただきます。

人生には「上り坂」、「下り坂」、「まさか」の3つの坂があると言われるますが、資産運用をしていると快晴の日も嵐の日もあります。また、想定外や予想外のことも起こります。日々変動していくマーケットに絶対確実なことはなく、先行きは不透明で不確実性があります。それらを認識した上で良い時も悪い時も皆さまと資産運用の目標(ゴール)を目指して、一緒に伴走していければと思っております。コロナ禍で世の中は大変ではありますが、それに慣れて適応していきながら、共に乗り越えていきましょう。

弊社はこれからも短期的な相場動向に一喜一憂せず、世界経済の成長及び企業利益の成長の恩恵を享受すべく長期国際分散・厳選投資でダウンサイドリスクを抑えながら安定した運用成果を残せるように資産運用して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

🌸 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,734円	+9.6%
3年	18,415円	+11.5%
5年	17,232円	+19.1%
10年	13,035円	+57.5%
初回(2004年10月)から	11,714円	+75.3%



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万1500円
3年	36万円	40万1325円
5年	60万円	71万4787円
10年	120万円	188万9909円
初回(2004年10月)から	192万円	336万4975円

2020年9月30日現在(基準価額:20,529円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 ありがとうファンド第16期運用報告書交付のお知らせ

2020年8月31日にありがとうファンドの第16期決算を行いました。

決算日時点でありがとうファンドを保有しているお客さまには、「交付運用報告書」をマイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。

また、ホームページ上にも運用報告書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/report/#report>)からご覧ください。

🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

弊社では、2020年4月6日(月)より新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務を取り入れております。

つきましては、新型コロナウイルス感染拡大が収束するまでの当面の間、お電話フリーコール受付時間を10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【変更前】8:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)



【変更後】10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	新規の利用申込 引落口座の変更	引落金額の変更 引落の中止	引落日	買付申込日	約定日 (ファンドの購入日)
2020年 10月分	9月3日(木)	9月24日(木)	10月6日(火)	10月14日(水)	10月16日(金)
2020年 11月分	10月5日(月)	10月26日(月)	11月6日(金)	11月16日(月)	11月18日(水)
2020年 12月分	11月5日(木)	11月25日(水)	12月7日(月)	12月15日(火)	12月17日(木)
2021年 1月分	12月3日(木)	12月23日(水)	1月6日(水)	1月15日(金)	1月19日(火)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

10月	-	-	-
11月	26日(木)	感謝祭	ニューヨーク証券取引所休業日
12月	25日(金)	クリスマス	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。